

◆ 1年間の公務研修を修了◆

常達光さん 中国・大連に帰国



お便り

「あつこいう間」の1年間

この手紙を伊万里の皆さんが目にするころ、わたしは大連にいるはずですが、筆をとるにあたり、この1年間の研修の情景が目の前に

はつきりと浮かんできます。来日当日の歓迎会は、まるで昨日の日のようです。時間の早さに驚き『光陰矢の如し』『烏兔忽忽』の言葉を思い出しました。伊万里を離れること、皆さんと別れることが残念です。

初めて伊万里のことを知ったの、

伊万里の皆さん

は10年前に大連で初めて于植元先生と会ったときでした。2006年に大連のデパートで伊万里梨を買いましたが、そのときはこうして伊万里に来ることになるとは思いもよらないことでした。こういうことを『縁』というのでしょうか。

2007年3月22日に大連市政府

から派遣され、日本語と日本の行政の研修のため伊万里へ来ました。翌日、塚部市長から辞令書を交付されて伊万里での生活が始まりました。

伊万里は美しく静かな街

伊万里は美しく静かな街だと思えます。緑多い自然がいたるところにあります。そして驚、鳶など、わたしが知らない鳥を見ることができました。怖い蛇も！毎日、鳥の鳴き声で目を覚まし、すごく幸福な生活でした。綺麗な伊万里湾、伊万里湾大橋、芸術の薫り漂う神秘的な秘窯の里大川内山、うっそうと茂る果

再見！

サイヂエン

樹園、世界的にも有名な日本牛の牛でも、一番といえる伊万里牛の美味しさなどなどに大興奮しました。

さて、前半の庁内研修によって、市役所全般の仕事を勉強しました。元々私の専門とは全然違う分野でしたが、幅広い知識を得ることが

また会いましょう

できました。研修中それぞれの担当職員に詳しく説明を受けましたが、世界中で日本人の特徴といわれる『真面目さ』を目の当たりにし、感動してしまいました。

貴重な体験、大切な財産

たった一人、海外で暮らすのは貴重な経験だっと思えます（9月に妻が来伊、二人での海外生活はもつと貴重でした）。伊万里で人生初のいろいろな体験をしました。初めて田植えをしたり、初めてドームで生の野球を見たり、初めて講師になったり、初めて秋祭りで踊ったりと、すべてわたしの人生の良き思い出と財産になりました。



半年間の初級中国語教室で講師を務めた常さん。温厚な人柄で受講生たちから慕われました

特に感慨深いのは、伊万里の人々の熱意と親切さ、友好の心です。その温かさが人々の目から感じられました。1年間、市役所の国際交流室でいろいろとお世話をいただきました。研修資料の全部の漢字に振り仮名をつけてくれたり、妻の来伊前に自転車を買って駐輪場まで届けてくれたりと、多くの市職員の方にお世話になり、親しくなりました。職員以外にもたくさん友達ができました。心に愛があふれている図書館のボランティアさんたちや、毎年中国語教室へ来る人たちとの交流は、すべて私にとって忘れることのできないことです。

伊万里からいろいろなことをいただきました。恩返しとして、将来、伊万里と大連の友好交流に力を尽くしたいと思えます。

ずっと忘れない「伊万里」

貴重な機会に恵まれ、日本語や日本の行政、経済などを勉強できました。帰ってから続けなければなりません。大学入学以来12年間ずっと故郷を離れているので親孝行もしなければならぬと思っています。今回の研修は私の人生の節目となり、私の価値観、世界観に大きな影響を与えました。すべて『伊万里』のおかげであり、感謝しています。私は伊万里の人、伊万里のことをずっと忘れません。ありがとう、伊万里。

2008年2月13日

常達光